

指導医・専門医合格者コメント



岩野 義弘
(東京都)



佐久間 栄
(東京都)



笹谷 和伸
(栃木県)



若井 広明
(東京都)

1 段目
指導医試験合格者
2 段目 3 段目
専門医試験合格者
(各五十音順)



青柳 恵子
(長野県)



浅賀 勝寛
(埼玉県)



池田 岳史
(長野県)



北村 英二
(千葉県)



鈴木 祐輔
(千葉県)



高橋 俊一郎
(神奈川県)



田原 秀起
(兵庫県)



長谷川 徹
(大阪府)



三堀 陽介
(神奈川県)



若松 義昌
(茨城県)

指導医合格者コメント

3名の先輩方と共に指導医試験に合格

この度日本口腔インプラント学会の指導医の資格を取得させていただきました。親身になってご指導下さった小倉先生、井汲名誉会長、田中会長はじめこれまでお世話になって参りましたすべての先生方に心より感謝申し上げます。

指導医試験は思い出に残るものでした。日本口腔インプラント学会指導医試験前日の3月19日、指導医試験事前説明会を受けるため、会場の笹川記念館へと向かいました。同じく受験予定の笹谷先生、

若井先生、佐久間先生はすでに会場に到着しているとのこと。急いで到着すると、なんと指導医試験には事前説明会がないとのこと。しかも間違えて来てしまったのは我々の4人のみ。仕方なく4人で雨の中、田町駅前のダイニングバーへ行き、期せずして決起集会に。その甲斐あってか、4人揃って合格することができました。そしてあのダイニングバーは聖地となりました。小倉先生以来合格者のいなかった当会に、新たに4名の指導医が誕生したのは喜ばしいことですが、それ以上に、日頃からお世話になり親しくさせていただいている、笹谷先生、若井先生、佐久間先生と一緒に合格できたことをとても嬉

しく思います。戦友としてこれからの当会を共に支えて行きたいです。我々の合格でまた新たな流れが出来ました。指導医に近い先生方も多いと思います。是非これから多くの指導医が当会から誕生するよう、我々もバックアップして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。 岩野 義弘

日本口腔インプラント学会指導医取得

井汲 憲治前会長、田中 譲治会長をはじめ小倉 隆一専門医委員会委員長、中野 喜右人先生、坂根 清文先生、故大田 善秋先生、笹谷 和伸先生らたくさんの先生のご指導のもと日本口腔インプラント学会(JSOI)指導医を取得することが出来ました。ここに厚く感謝を申し上げます。特に小倉先生には長年にわたり細かなご指導を頂き言葉では足りないぐらいです。本当にありがとうございました。

私が日本インプラント臨床研究会(CISJ)に入会するきっかけは、2006年とあるインプラントのスタディーグループで九州の故添島 義和が「これからインプラント治療をする先生はJSOI専門医を取得しなさい」とおっしゃっていた時、私の隣に同窓の草間幸夫先輩がいて「先生、どうしたらいいですか?」と聞いたら草間先生の前に座っていた田中 譲治先生に話しを通して、「日本インプラント臨床研究会の100時間コース(認定講習会)を受講しなさい」とアドバイスを頂いたのが始まりです。すぐに受講したかったのですが何の優遇もなく普通に2年待って認定講習会を受講しました。ドキドキの中、受講すると親友の斎藤 琢也先生、同窓の正慶 智雄先生がいて本当に嬉しかったの覚えています。学会に参加しても必ず研究会の仲間がいるし、研究会の親睦会もあります。全員発表会、研修会など顔をあわせる機会が多く本当に楽しく研鑽させてもらいました。私は2008年13期ですが、同期には浅賀知記、熱田 互、安倍 稔隆、安藤 寿勇、斎藤 琢也、佐藤 浩史、田原 秀起、細野 拓生、湯浅 慶一郎先生らがいてみんな専門医を取得しました。おそらく大学系や小さな研修施設よりも同期専門医人数だけで負けないのではないのでしょうか?本当に尊い同期の仲間ができました。他にもこの研究会で知り合いの先生も

たくさん出来ました。私の人生の宝物の1つでもあります。本当にこの研究会に入って心の底から良かったと思っています。

私はCISJ専門医委員会に14年在籍し、現在は副委員長を仰せ使っております。私自身、JSOI専門医取得は最短の5年で所得しました。指導医はやはり論文の問題が大きく専門医取得から10年を費やしました。これからはたくさんの経験を元に後進の指導を丁寧に行い、可能な限り多くの会員を専修医や専門医、さらには指導医にすることが私の研究会に対する細やかな恩返しと考えております。これからも研究会の繁栄発展に尽力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

佐久間 栄

指導医を取得して

この原稿を書くにあたり、かつて受験した専門医試験を思い出しました。

当時、日本歯科大学の試験会場に20症例のパノラマエックス線フィルムを持参し筆記試験、面接が1日ばかりで行われたことを記憶しています。

当日会場では今と同様に指導医試験もおこなわれており、名前は出ませんが、同日に指導医試験を受験していた当会の重鎮の先生にお会いしました。その先生の受験に挑む資料の多さに圧倒され、パノラマエックス線フィルム100症例分や執筆論文6本などなど大荷物見て、「まあ～大変だな～」と思いました。まさかそんな私が指導医試験に挑むことになるとは当時考えもしませんでした。

歴代の会長、会員の先生方に支えられて今年、何とか受験に挑むことができました。

昨年の試験はコロナの影響により中止となったため1年待つ形になり準備をしました。とにかく100症例の資料の準備が大変でパノラマエックス線の印刷、症例表に名前、初診年月日、埋入日などなどの記載を指定順におこない、順序を間違えると間違えたところからやり直す。まあ～、トラウマになるぐらいきつく地味な作業でした。

そのかいあって、無事合格することができました。今年の指導医試験では当会から岩野先生、佐久

間先生、若井先生とともに受験し全員合格したこと、トラウマになるぐらいきつい作業をわかってくれるその先生方が戦友のように思えることがうれしい限りです。受験前日、田町のビヤホールにて4人で飲みながらあれやこれやと試験の心配事を話し合ったこともいい思い出になりそうです。

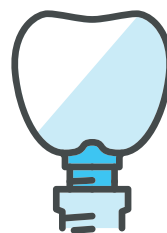
会員の先生方、諸先輩方、いろいろとありがとうございました。合格できましたこと感謝申し上げます。

笹谷 和伸

日本口腔インプラント学会指導医取得のご報告

本年3月27日に日本口腔インプラント学会の指導医に認定いたしましたことをご報告いたします。私は遡ること2002年に34歳で同学会認定医を取得し、2005年に認定医が専門医に変更されました。認定医取得から20年での指導医取得となります。指導医を申請するためにはいくつかクリアしなくてはならないハードルがあり、その中で論文数に関しどの先生方もクリアが難しいとおっしゃります。認定医取得から最初の10年くらいは指導医取得など全く頭の隅にもあらず、ただただ当会や学会での活動と大学での活動を行って参りました。学会発表や参加は当会の活動も含め十分クリアできていましたので、大学活動で少しずつ論文数が増え今回の申請へ繋がったものと考えます。論文はインプラント学会の認定する学術誌以外の投稿はカウントされないためこれもハードルの一因かと思われ。ともあれ無事に論文数をクリアできたため今回の申請となりました。ひとえに日本インプラント臨床研究会で共に活動した仲間や諸先輩方のおかげであり、沢山の励ましやアドバイスをいただいた賜物と思っております。これからもより一層励んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

若井 広明



専門医合格者コメント

平素より研鑽の機会をいただきまして有難うございます。

その成果といたしまして、無事に専門医の資格を取得することができました。

2014年に入会して8年間、常に専門医取得を目指してきました。

会長の田中 譲治先生、専門医委員会委員長の小倉 隆一先生には大変お世話になりました。

また、専門医委員会の先生方にもご指導を賜りました。心から感謝申し上げます。 青柳 恵子

☆当会初の女性専門医の誕生となりました。今後も女性会員の皆様へ専門医取得をしっかりサポートしていきます。

日本口腔インプラント学会専門医試験合格について

インプラント治療は歯科医師であれば誰でもできる治療である。しかしインプラント治療は非常に奥深く、専門的な知識、経験、設備がないと行うことができない。残念なことに治療計画が不十分なインプラント治療も多く見かける。インプラント治療を行うにあたり専門医の取得は必須と考えている。僕は研修医になった時からインプラント専門医を取得することを目標としていた。最短で取得したかったが、コロナの影響により試験が延期になり、非常に残念でした。今回ようやく受験することができ、臨床研究会の先生方の事前のご指導のおかげで、口頭試問時も症例を褒められ、終始和やかに終わることができました。今後もインプラント臨床研究会の一員として責任を持って、患者さんにインプラント治療を提供し、インプラント指導医の資格を目指します。

浅賀 勝寛

日本口腔インプラント学会専門医を目指して日々臨床に励んできましたが、新型コロナウイルスの猛威により令和3年度の専門医試験が中止となり、学会入会5年での専門医取得は叶いませんでした。しかし、そこからの1年間に田中会長、笹谷専務、専門医委員会の先生方をはじめ、多くの先生から合格に向けてのアドバイスを頂くことができ、万全の体制で令和4年度の日本口腔インプラント学会専門医試験を受験することができました。不安な部分もありましたが、皆様のご支援のおかげで念願の専門医取得となりました。本当にありがとうございました。長い歯科医師人生の前半ではございますが、ひとつの区切りとなりました。今後は専門医取得を目標にしている後輩の先生方に少しでも力になれるようサポートしていきたいと考えております。幸いなことに専門医委員会小倉先生より委員会へのお誘いを頂戴いたしました。力不足感は否めませんが、ありがたく働かせていただきます。まだまだ若輩者ではございますので、今後ともご指導の程よろしく願いいたします。

池田 岳史

専門医試験を受けて

コロナ禍で日本口腔インプラント学会の専門医試験も延期になり、今年やっと受験することができました。

2年前から委員長の小倉先生をはじめ、多くの先生に症例の選択や試験対策についてご指導いただきました。

専門医症例個別相談会では、時には厳しいご意見もいただき、めっちゃくちゃ凹みましたが、何とか合格させようと真剣に考えてくださり、本当に感謝しています。

専門医試験は笹川記念会館で行われ、前日に事前説明会がありました。そこでは筆記試験の重要どころや試験についての注意事項があり、参加は必須ではなかったのですが、参加してなかったら筆記試験はできなかったと思うほど、超重要な説明会でした。

また笹谷先生、若井先生、佐久間先生がわざわざ応援に駆けつけてくださりとても勇気づけられました！

実際の試験は、思っていたほどピリピリした感じは

なく、運営側の先生も優しい雰囲気だったので、口頭試問も楽勝かな?!とっていたら、コテンパンにやられました。しかし、症例相談会でご指導していただいていたおかげで、なんとか乗り切ることができ、ギリギリで合格することができました。

あと専門医症例相談会は、まずはCISJに入会してすぐに見学してから症例を作る方が、直前になって困らないと感じました。

今回、専門医試験に合格できたのは、CISJに入っていたからだ実感しています。そして今回一緒に専門医試験を受けた仲間がいたことは、私にとって大変心強かったです。

症例相談会でご指導していただいた先生、また経験の場を提供しご指導くださった水口先生に厚く御礼申し上げます。今後ともご指導よろしく願いいたします。

北村 英二

専門医試験合格のご報告とご支援への感謝

この度無事に日本口腔インプラント学会専門医試験に合格することが出来ました。

ケースプレゼンテーション試験や専門医試験においては小倉先生をはじめ、専門医委員会の先生方のご指導をいただき感謝してもしきれません。

今後とも一歯科医師として日々研鑽してまいりたいと思います。

CISJの皆様のお力添えに深く感謝申し上げます。以上です。よろしく願いします。

鈴木 祐輔

今回の日本口腔インプラント学会専門医試験におきまして、無事CISJ受験者が全員合格できました。これもひとえに先生方のご指導のおかげです。

私は、100時間講習会同期の若松先生と専門医試験の情報交換し準備を重ね、試験に臨みました。試験当日の口頭試問では、小倉先生と佐久間先生に事前シミュレーションしていただき、アドバイスをいただきました事項そのままが何問も問われましたので、正直驚きました。

雑談にはならず、時間内質問攻めでしたが、ほぼ想定内の質問事項を問われましたので、先生方のア

指導医・専門医合格者コメント

だ開業医でのインプラント治療はそれほど多くなく、専門医が埋入を行い個人医院を訪れると言うような状況も見受けられ。いつか自院を開業したあかつきには自分自身でインプラント治療を行い全額的な処置もできるようになりたいという思いからでした。この度の専門医取得に際し、本当に多くの先生方にサポートして頂きこのような資格を取得できたことに御礼申し上げます。日本インプラント臨床研究会に所属させて頂き、たくさんの先生方と出会い今日の自分があるのだと思っております。今後、専門医取得に向け励んでいる先生方のサポートできるように行動してゆきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。 三堀 陽介

CISJで勉強させていただいている目的としては、患者さんに安心してインプラント治療を受けていただくためもありますが、口腔インプラント学会の専門医取得も一つでした。2012年に認定講習会を受講させていただいてから10年ほどかかりましたが、無事に専門医試験に合格させていただきました。対策

委員会の先生方をはじめにCISJの先生方のご指導や、当会の手厚いサポートや発表の機会を作っていただけの環境が、一発で合格という結果をもたらしたと改めて感じ、深く感謝しております。

初めて当会の専門医症例相談会に参加させていただいたときは、的確な指導をいただき資料の大切さを痛感したのと同時にこれでは専門医試験に合格できないのではないかと不安を感じました。頂いたアドバイスを参考に症例を見直し、試験に沿った20症例を選び直し、試験に臨むことができました。

新型コロナの影響で今年の専門医試験が中止になり、2年ぶりとなる専門医試験でした。感染対策として、筆記試験会場を大ホールで行なったり、紙媒体の試験がPCを使ったスライド方式に変更になったりと、通例とは多少異なっていましたが、事前の準備のおかげで落ち着いて試験を受けることができました。

今後は専門医として技術の研鑽とCISJの発展のために微力ながら貢献していきたいと思えます。引き続きのご指導よろしく願いいたします。

若松 義昌

訃報

ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでご通知申し上げます。



名誉会員 松本常男先生
7月28日ご逝去(享年92歳)



名誉会長 佐藤甫幸先生
8月10日ご逝去(享年78歳)

ご冥福をお祈り申し上げます。